

第七十三回一宮市芸術祭参加

第64回 一宮支部展

支部次長 村 田 光 終

▼会期 平成三十年十一月二十四日(土)～二十五日(日)

▼会場 一宮スポーツ文化センター

暮秋の候、本年度も一宮支部展が開催されました。

第六十四回展も成功裡に収めることが出来ました。それも偏に先生方の多大な御尽力と御協力の御蔭と先ずを以て、厚く御礼申し上げます。

本部からは、昨年同様、理事長の関根玉振先生、副理事長の伊藤仙游先生、同岡野楠亭先生、同松下英風先生、事務局長の大池青岑先生の賛助出品を賜り、支部の先生方からは、一九七名の多数の御出品、フューチャーズは、団体として三団体、個人では六名の御出品を頂きました。

周知の通り、支部展は地元の最大の書道展で御

来観も多いです。一般の方々にも今迄以上に御興味を持って御鑑賞頂けるよう、支部長の御提案があり、本年度よりギャラリートークの新企画が加わる運びとなりました。第一回目は歴代の支部長（相談役）の亀山雪峰先生がお話をして下さいました。

美しい作品の書き方の全体的必要条件として、線の太い細いの変化。墨の潤渴の変化。字の大小の変化。この三つの変化に加え更に落款を含めた全体の余白の美しさの工夫で、立体的ないい作品が出来る。又、文字学に於いて、先生御自身の作品から「穠・あき」の字を例にされ、字源の説明、その流れから長文制作の際、同じ字が重なった場合は異字体を使用して変化をつける等、この書面で書ききれない程の豊富な制作の方法を、とても判り易く御教示賜りました。

本年度は新元号となり、又六十五回展の節目の年です。相変わりませず多数の御出品並びに御尽力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。